

報告第17号

株式会社八重山食肉センター経営状況について

地方自治法（昭和22年法律第67号）第243条の3第2項の規定により、次の事業計画及び決算に関する書類を作成したので報告する。

- 1 令和6年度（第52期）事業決算書
- 2 令和7年度（第53期）事業計画書

令和7年9月8日提出

石垣市長 中山 義 隆

令和6年度
第52期定時株主総会

日 時：令和7年6月30日（月曜日）14時00分

場 所：石垣市役所大会議室1

株式会社 八重山食肉センター

令和6年度 第52期定時株主総会次第

1. 開 会

2. 代表取締役あいさつ

3. 議長選出

4. 定足数確認

5. 議案審議

第1号議案 第52期事業報告、監査報告及び決算の承認の件

第2号議案 第53期事業計画（案）及び予算の承認の件

第3号議案 取締役改正の件

その他

6. 閉 会

第1号議案

第 52 期(令和 6 年度)事業報告書

概 要

当期のと畜実績は、牛が初の 2,000 頭を超える 2,012 頭となり前期に比べ 154 頭の大幅な増頭となったが、豚 は 1,567 頭で 25 頭の減、馬が 3 頭で 3 頭の減、山羊が 403 頭 で 16 頭の減であった。これらの要因として、牛のと畜頭数の増頭については、コロナ禍においての子牛セリ価格の低迷から、肥育へ転換した牛が肥育期間を経て出荷されていることが考えられ、他畜種の減少については、弊社施設の機能向上工事における機器設備の設置に伴ったと畜停止の影響が考えられる。

全国的な牛肉需要の低迷により、本地域においても、JA石垣牛をはじめとする肥育牛の販売が苦戦する状況にはあるが、その中においても経産牛の販売については、比較的好調な伸びを示している。

牛の部分肉加工においては、今期実績で 903.5 頭になり、昨年度の 901.5 頭に比べても同様の頭数ではあるが、と畜実績が増頭している中において、仕向率においては 44.9%に留まることから、約 3%の落ち込みとなっている。仕向率の向上が最重要の課題とされているためカット職員の確保による体制構築にさらに力を入れる必要がある。

豚においては、新たに豚舎建設に意欲をみせる農家がいることから、増頭が見込まれるため、豚舎建築に係る補助事業の導入など関係機関の支援が求められる。

山羊においては、石垣市山羊生産組合における活動が限定的であるため、昨年度、開催された石垣島山羊まつりなど、島内外への周知イベントの実施による需要拡大を期待したい。

令和6年6月18日に、弊社工場内にて発生した漏電により、と畜牛を保管していた冷蔵庫の冷却装置が停止したことから、保管していた 13 頭分の枝肉の廃棄が生じた。損害は、枝肉ごとの格付けに基づく平均単価から合計で、1,364 万円であった。また、近年のエネルギーコストの上昇やと畜停止による収入減などから、光熱費の抑制など徹底した経費削減を実施してきたが、苦しい経営運営となったため、期末に追加となる融資を受ける手続きを進めた。いずれの融資にも必要条件となる市の損失補償契約を受け実行している。当期内において、二度にわたる融資を受ける事態となったことは、誠に遺憾であり、このような事態を繰り返さないよう社員全体で改善に向け取り組んでまいります。

また、経営改善計画からも指摘のあると畜料金改定については、令和7年4月1日より、牛で 1万 6 千円、豚 863 円、山羊 421 円、馬で 5 千 126 円の増額改定をしており、弊社といたしま

しても、これまで以上に、施設の適正稼働に努めることで、利用者並びに関係機関の皆様から信頼を得られるよう運営してまいります。

当施設における生産機械設備については、新たな輸出先国として見据える、台湾及びシンガポールが要求する背割り機及び消毒槽、その他の機械について、令和5年度 HACCP ハード事業により導入及び整備を終えております。あわせて、進める病畜棟の改修工事も施設認定に遅れがでないよう、鋭意、取り組んでいるところです。

当期の売上高については、208,673,285 円となり、前期より、30,317,553 円の増となっています。内訳は、と畜収入が 15,521,648 円。石垣牛及びやいま牛の内臓処理収入は 55,484,315 円。カット収入については 38,963,608 円。その他の売上は 98,703,714 円で、内容として、牛皮及び牛脂の販売料、死亡家畜処理料、保管料及び各種証明書料などとなっております。

製造原価については、195,939,148 円であり、前期に比べ 35,958,059 円増となっており、主要な項目では残渣運搬料が 1,894,234 円の増、焼却処分費で 5,423,950 円の増、電力費で 4,582,048 円の増、燃料費で 3,271,623 円の増、水道光熱費で 633,745 円の増とエネルギーコストに係る負担が大きくなっております。売上総利益から販売費および一般管理費を差し引いた営業に係る損失は、48,739,679 円となり、前期に比べ 7,084,113 円減っています。営業外収益についても、補助事業の減から前期に比べ 28,424,348 円減の 3,371,771 円となっております。当期純損失は 32,316,361 円となり、今期においても経営改善は適わず、赤字計上となっております。

しかしながら、これまで懸念事項とされていたと畜料金の改定が実施できたことは、経営改善を進める一歩が踏み出せていると捉えております。畜産農家の高齢化や後継者不足が深刻化していることに加え、飼料価格の高騰や市場価格の変動など畜産業を取り巻く厳しい状況が続いておりますが、弊社としまして、これまで以上の諸経費の節減に取り組むことで、食肉センターの健全な運営に努めるとともに、内部監査の実施により徹底した衛生管理基準等の遵守や HACCP 体制の運用を進めてまいります。

現在、進めている施設改修により、新たな輸出先国である台湾への輸出認証取得が間近にせまっております。抜かりの無いよう、関係機関との連携を綿密に図り、取り組んでまいります。

株式会社 八重山食肉センター
代表取締役 中山 義隆 殿

監 査 報 告

監査役は、令和6年4月1日から令和7年3月31日までの第52期事業年度の職務執行を監査いたしました。その結果につき下記のとおり報告いたします。

1. 監査の方法

私たちは、取締役会に出席するほか、総務部長等からその職務の執行状況を聴取し、業務及び財産の状況を調査して、事業の報告を求めました。また、会計帳簿等の調査を行い、当該事業に係る計算書類（貸借対照表、損益計算書、株主資本）等について検討しました。

2. 監査の結果

- (1) 会計帳簿は、記載すべき事項を正しく記載し、上記の計算書類の記載と合致しているものと認めます。
- (2) 計算書類は、法令及び定款に従い、収支及び事業活動の状況並びに財産の状況を正しく示しているものと認めます。
- (3) 事業報告書は、法令及び定款に従い、会社の状況を正しく示しているものと認めます。
- (4) 取締役の職務執行に関する不整の行為又は法令もしくは定款に違反する重大な事実は認められません。

令和7年6月 26日

株式会社 八重山食肉センター

監査役

監査役

第 5 2 期

決 算 報 告 書

令和 6年 4月 1日から

令和 7年 3月 31日まで

株式会社 八重山食肉センター

(法人番号:8360001013197)

損益計算書

令和 6年 4月 1日から
令和 7年 3月31日まで

商号 株式会社 八重山食肉センター

(単位：円)

科 目	金 額		
I 売 上 高 屠 殺 収 入 内 臓 処 理 収 入 カ ッ ト 収 入 そ の 他 売 上	15,521,648 55,484,315 38,963,608 98,703,714	208,673,285	208,673,285
II 売 上 原 価 期 首 棚 卸 高 当 期 製 品 製 造 原 価 合 期 末 棚 卸 利 売 上 総 利	0 195,939,148 195,939,148 0	195,939,148 0	195,939,148 12,734,137
III 販 売 費 及 び 一 般 管 理 費 販 売 費 及 び 一 般 管 理 費 失	61,473,816	61,473,816	48,739,679
IV 営 業 外 収 益 受 取 収 入	458 3,371,313	3,371,313	3,371,771
V 営 業 外 費 用 支 払 損 失	1,051,870 127,122	1,178,992	46,546,900
VI 特 別 利 益 補 助 金 収 入	17,127,874	17,127,874	2,717,335
VII 特 別 損 失 損 害 補 償 損 失	2,717,335	2,717,335	32,136,361
税 引 前 当 期 純 損 失 法 人 税、住 民 税 及 び 事 業 税 当 期 純 損 失	180,000	180,000	32,316,361

販売費及び一般管理費の計算内訳

令和 6年 4月 1日から
令和 7年 3月31日まで

(単位：円)

科 目	金 額
広 告 宣 伝 費	143,095
給 与 手 当	16,026,921
賞 与 費	1,148,400
法 定 福 利 費	2,956,713
福 利 厚 生 費	48,146
減 価 償 却 費	7,151,816
地 代 一 家 賃	2,223,100
修 繕 費	356,193
備 品 消 耗 品 費	16,125
通 信 交 通 費	663,150
租 税 公 課	4,345,485
事 務 用 消 耗 品 費	8,886,350
接 待 費	329,887
保 険 費	24,712
研 究 修 繕 費	1,006,311
管 理 諸 費	70,563
支 払 手 数 料	3,774,851
施 設 委 託 料	10,928,896
雑 費	1,320,000
合 計	53,102
	61,473,816

製 造 原 価 報 告 書

令和 6年 4月 1日から
令和 7年 3月31日まで

(単位：円)

科 目				金 額
I 材 期 部 合 期 当	料	費		
	首 材 料 棚 卸	高		0
	分 肉 仕 入	高		38,206,654
		計		38,206,654
II 勞 賃 賞 雜 法 福 当	末 材 料 棚 卸	高		0
	期 材 料	費		38,206,654
	務	費		
	賃	金		54,517,884
III 經 殘 燒 外 電 燃 水 減 リ 修 租 賃 車 支 工 雜 當 期 合 期 當	運 搬	費		7,894,238
	處 分	費		10,517,308
	注 加 工	費		48,908
	力 料	費		29,642,941
	道 光	費		13,388,613
	償 熱	費		3,250,105
	一 ス	費		3,840,539
	繕	料		3,909
	公	費		3,019,828
	借 課	料		1,788,623
	貸 料	費		59,600
	兩 關 連	費		67,182
支 払 格 付	料		2,671,674	
場 消 耗 品	費		8,813,709	
期 經	費		21,159	
當 期 總 製 造	費		85,028,336	
期 首 仕 掛 品 棚 卸	高		195,939,148	
合 期 末 仕 掛 品 棚 卸	計		0	
當 期 製 品 製 造 原 価			195,939,148	

株主資本等変動計算書

商号 株式会社 八重山食肉センター

令和 6年 4月 1日から

令和 7年 3月31日まで

(単位：円)

I 株主資本			
1. 資本金	当期首残高		13,350,000
	当期変動額		<u>0</u>
	当期末残高		<u>13,350,000</u>
2. 利益剰余金	当期首残高		-134,841,469
(1) その他利益剰余金	当期変動額		
繰越利益剰余金	当期純損失	-32,316,361	<u>-32,316,361</u>
	当期末残高		<u>-167,157,830</u>
その他利益剰余金合計			
	当期首残高		-134,841,469
	当期変動額		
	当期純損失	-32,316,361	<u>-32,316,361</u>
	当期末残高		<u>-167,157,830</u>
株主資本合計			
	当期首残高		-121,491,469
	当期変動額		
	当期純損失	-32,316,361	<u>-32,316,361</u>
	当期末残高		<u>-153,807,830</u>
II 評価・換算差額等			
	当期首残高		0
	当期変動額		<u>0</u>
	当期末残高		<u>0</u>
III 新株予約権			
	当期首残高		0
	当期変動額		<u>0</u>
	当期末残高		<u>0</u>
純資産の部合計			
	当期首残高		-121,491,469
	当期変動額		
	当期純損失	-32,316,361	<u>-32,316,361</u>
	当期末残高		<u>-153,807,830</u>

第 2 号議案

第53期(令和7年度)事業計画(案)

食肉流通にとって欠かせない食肉処理施設は、食肉需要が増加する中で全国的にも施設の老朽化、労働力不足、水道光熱費の高騰、輸送コストの上昇などさまざまな課題に直面しており、このような中で、施設の維持・更新を図るため、輸出を含めた販売戦略の構築など、稼働率確保に向けた取り組みの実施及び検討がされております。弊社においても、アジアに最も近いという地理的優位性を最大限に活かした戦略として、台湾向け輸出食肉処理場の認定取得を目指し、鋭意、取り組んでいるところであり、石垣市が事業主体となり、令和6年から着手し進めている、現施設及び旧と畜場の生産機器整備工事や機能向上を図る改修工事について、完了が目前となっております。弊社といたしましても、HACCP 監査員、現場担当者の衛生指導に注力することで、より安全・安心な食肉の提供ができるよう体制を整えてまいります。昨年度においては、牛のと畜頭数について、初の 2,000 頭を超えることができましたので、本年度においても、と畜作業の効率化を図ることで、目標とすると畜頭数を確保できるよう、関係機関と綿密に連携し取り組むとともに、地域内における消費促進を推進することや国内外の販売促進に尽力いたします。あわせて、経産牛販売やふるさと納税の返礼品の生産など事業の多角化にも力を入れてまいります。

豚及び山羊においては、コンスタントに出荷ができるよう体制を整えてはいますが、全体的な飼養頭数が維持傾向にあるため、昨年度並みの頭数を見込んでおります。

当面、経営を取り巻く環境は厳しい状態が続くことが想定されるため、光熱費など徹底した経費削減を心掛けるとともに、これまで以上に、施設の適正稼働に努め、また、肉の販売強化及び販路先の開拓などによる収益向上に取り組むことで、生産者と消費者を結ぶ食肉流通の拠点として、信頼を得る会社運営に努めてまいります。

製品製造原価（案）

株式会社八重山食肉センター

自 令和7年 4月 1日

至 令和8年 3月 31日

科 目		金 額 (円)
材 料 費		39,000,000
1	内 臓 仕 入 高	39,000,000
労 務 費		67,038,150
1	賃 金	60,000,000
2	賞 与	6,000,000
3	法 定 福 利 費	938,150
4	福 利 厚 生 費	100,000
製 造 経 費		84,285,539
1	残 渣 運 搬 料	8,000,000
2	焼 却 処 分 費	10,000,000
3	電 力 費	30,000,000
4	燃 料 費	13,000,000
5	水 道 光 熱 費	3,200,000
6	管 理 諸 費	1,400,000
7	減 価 償 却 費	3,840,539
8	修 繕 費	3,000,000
9	共 済 掛 金	800,000
10	旅 費 研 修 費	300,000
11	車 両 関 連 費	125,000
12	支 払 格 付 料	2,600,000
13	工 場 消 耗 品	8,000,000
14	雑 費	20,000
総製造費用		190,323,689
当期製品製造原価		190,323,689

販売費及び一般管理費（案）

自 令和7年 4月 1日

株式会社八重山食肉センター

至 令和8年 3月 31日

No	科 目	金額（円）	備 考
1	支 払 運 賃	0	
2	役 員 報 酬	0	
3	役 員 賞 与	0	
4	給 料 手 当	16,000,000	
5	賞 与	2,000,000	
6	法 定 福 利 費	14,000,000	
7	福 利 厚 生 費	50,000	
8	減 価 償 却 費	8,000,000	
9	リ ー ス 料	2,300,000	
10	地 代 家 賃	356,195	
11	消 耗 品 費	800,000	
12	通 信 交 通 費	2,000,000	
13	寄 付 金	0	
14	租 税 公 課	8,400,000	固定資産税
15	接 待 交 際 費	70,000	
16	保 險 料	1,849,037	
17	管 理 諸 費	3,000,000	
18	会 議 費	10,000	
19	支 払 手 数 料	10,900,000	
20	施 設 委 託 料	1,320,000	
21	雑 費	60,000	
販売費及び一般管理費		71,115,232	

損益計算書(案)

自 令和7年 4月 1日

株式会社八重山食肉センター

至 令和8年 3月 31日

科 目	金 額(円)	備 考
売 上 高	258,689,058	
と 殺 収 入	16,485,708	
カ ッ ト 収 入	66,798,000	
内 臓 販 売 高	55,314,090	
そ の 他 売 上	120,091,260	残渣処理料金含む
売 上 原 価	190,323,689	
当 期 製 品 製 造 原 価	190,323,689	
売上総利益	68,365,369	
販売費及び一般管理費	71,115,232	
営業損失	△ 2,749,863	
営業外収益	5,351,000	
受 取 利 息	1,000	
雑 収 入	5,350,000	
営業外費用	2,085,000	
支 払 利 息	85,000	
雑 損 失	2,000,000	
経常利益	2,601,137	
税引前当期純利益	2,601,137	
法人税・住民税・事業税	290,000	
当期純利益	2,226,137	

令和7年度歳入算出根拠資料(案)

と殺料・と畜場使用料・県知事認可

種 別	頭数	単価	金額 (円)
肥 育 牛	1,407	6,199	8,721,993
老 廃 牛	670	6,199	4,153,330
豚	1,350	1,986	2,681,100
山 羊	450	2,000	900,000
馬	5	5,857	29,285
合 計			16,485,708

カット料

種 別	頭数	単価	金額 (円)
肥 育 牛	800	58,185	46,548,000
老 廃 牛	500	40,500	20,250,000
合 計			66,798,000

内臓販売収入

種 別	頭数	単価	金額 (円)
石 垣 牛	927	59,670	55,314,090
合 計			55,314,090

その他の売上

種 別	金額 (円)	対前年比
牛皮、牛脂	4,000,000	112%
死亡家畜処理	4,000,000	100%
保 管 料	1,300,000	100%
そ の 他	12,000,000	101%
検 査 料 金	1,744,200	
合 計	23,044,200	

残渣処理等料金

種 別	頭数	単価	金額 (円)
肥 育 牛	1,407	42,030	59,136,210
老 廃 牛	670	42,030	28,160,100
豚	1,350	5,295	7,148,250
山 羊	450	5,505	2,477,250
馬	5	25,050	125,250
合 計			97,047,060

年度	と畜数	石垣牛	やいま	美崎牛	きたうち	肥育牛	老廃牛
令和3年	1,562	736	10	362	57	1,169	393
令和4年	1,762	798	11	372	56	1,237	525
令和5年	1,856	784	29	373	67	1,083	773
令和6年	2,012	937	33	312	63	1,345	667
令和7年	2,077	950	30	367	60	1,407	670

枝重量 442キロ

カット料金 135円

内臓料金 130円

第3号議案

取締役改正

No	役 職	現取締役		新取締役（案）
1	代 表 取 締 役	中 山 義 隆		留任
2	常 務 取 締 役	宮 良 直 好	石垣市農林水産商工部長	留任
3	取 締 役	前 泊 正 人	竹富町長	留任
4	取 締 役	石 垣 信 治	JAおきなわ八重山地区本部長	仲門 和則 JAおきなわ八重山地区本部長
5	取 締 役	川 満 俊 二	生産農家	留任
6	取 締 役	上 江 洲 安 生	JA石垣牛肥育部会長	留任
7	取 締 役	仲 大 盛 吉 幸	生産農家	留任
8	監 査 役	島 袋 仲 彦	JAおきなわ八重山畜産振興センター長	留任
9	監 査 役	横 目 剛 弥	竹富町農林水産課長	留任